

音楽と花と祈りの集い

大空のあなたへ ～ありがとうを伝えたくて～

7月7日七夕の日、男鹿市北浦にある曹洞宗雲昌寺さんで「音楽と花と祈りの集い」というイベントが開催されました。このイベント、昨年に続き2回目の開催で、お寺の敷地に鮮やかな青色の紫陽花が咲き誇り、まさに秋田の紫陽花寺の佇まいでした。また「大空のあなたへ～ありがとうを伝えたくて～」として大切な人への思いを短冊にそえて、本堂に飾られている七夕の笹に短冊に書いた思いを綴っていました。



参道を彩る紫陽花

また本堂にてオカリナコンサートがおこなわれ、オカリナデュオKana-iro（かないろ）のお二人による、とても心地よい音色と、外を見れば鮮やかな紫陽花に、見下ろせば北浦の海で一言では表せない空間となりました。当日は由利本荘からお越しになっている方もいたそうです。

演奏の最後には、童謡「ふるさと」をオカリナの音色に乗せて本堂に集まった方々が歌い、七夕を思い思いに過ごされていました。また、コーヒーや綿あめが無料で頂けたり、お菓子、グッズなども販売されていて、とても賑やかな本堂でした。私はKana-iroのCDを購入し帰宅の車中で紫陽花を思い出しながらオカリナのメロディを聴いています。是非、来年は皆様も鮮やかな紫陽花を見に来て下さいね。

また本堂にてオカリナコンサートがおこなわれ、オカリナデュオKana-iro（かないろ）のお二人による、とても心地よい音色と、外を見れば鮮やかな紫陽花に、見下ろせば北浦の海で一言では表せない空間となりました。当日は由利本荘からお越しになっている方もいたそうです。

演奏の最後には、童謡「ふるさと」をオカリナの音色に乗せて本堂に集まった方々が歌い、七夕を思い思いに過ごされていました。また、コーヒーや綿あめが無料で頂けたり、お菓子、グッズなども販売されていて、とても賑やかな本堂でした。私はKana-iroのCDを購入し帰宅の車中で紫陽花を思い出しながらオカリナのメロディを聴いています。是非、来年は皆様も鮮やかな紫陽花を見に来て下さいね。



オカリナデュオ Kana-iroのお二人



宗派による焼香の作法

各宗派のご焼香の回数や作法があるのはご存じでしたか

さて今回は、ご焼香についてです。仏式の葬儀や法事などでご焼香をしますが、宗派によって焼香の回数や作法があるのは、ご存じでしたか。ここで少しご紹介しましょう。
[曹洞宗]回数にこだわりませんが、通常2回
[臨済宗]回数にこだわりませんが、通常1回
[真言宗]通常は3回。仏・法・僧に供養すること、身・口・意の三密修行に精進すること、戒香（かいこう）定香（じょうこう）解脱香（げだつ

こう）とって、自らが戒律を保ち、心の静寂を求めることのできる功德があるとされています。
[浄土宗]特に定めがありません。『真心をこめて一心に』で1回。『身を静めて1回、心を清めるのに1回』で2回。『仏・法・僧への帰依』『過去・現在・未来の衆生に回向』で3回。
[浄土真宗]あくまで自分の身を清めるためと説明され、香を額に頂くことはしません。本願寺派（西）では1回。大谷派（東）では2回とさ



れています。お線香を用いる場合には本数を気にせず、立てないで横にします。
[天台宗]回数については特に定めがありません。
[日蓮宗]通常3回。仏・法・僧の三

宝供養とも、『空・仮・中の三諦』（くう・け・ちゅうのさんだい）にならうとも言われています。

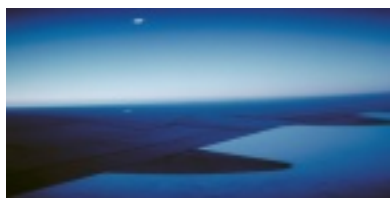
焼香には各宗派の仕方や作法があり、法事や葬儀などで焼香する場合本来であればその宗派に合わせて行うことが望ましいのです。が、たとえば法事や葬儀に参列されたとき、相手の宗派が浄土宗の場合では、その宗派の作法に合わせ、その宗派を尊重して行う事がいいとされますが、自らが信じる宗教や宗派の作法でも構わないと思います。なによりも大事なことは、心を込めてお祈りすることではないでしょうか。

*葬儀概論から抜粋

エンジェルフライト

エンジェルフライトってご存知ですか？耳慣れない言葉だと思いますが、「国際霊柩送還士」という仕事です。国際霊柩送還士とは、海外で亡くなった日本人の遺体や遺骨を日本に搬送し、また日本で亡くなった外国人の遺体や遺骨を祖国へ送り届ける仕事です。2003年にエアハースインターナショナル(株)という日本初の専門会社が設立されました。海外で亡くなった日本人の遺体は現地の葬儀社によって送り出され、航空便の貨物

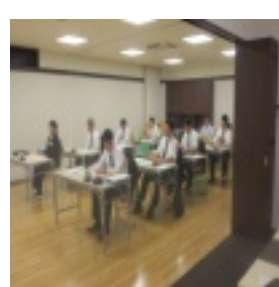
として日本に戻ってきます。空港に着いた遺体はエアハースの処置により穏やかな表情に整えられて遺族の元へ送り届けられます。そして外国人の遺体は亡くなった方の宗教、習俗を尊重した形で日本から送り出されます。海外からの搬送や日本から海外への搬送の際、様々な手続きを経て行われています。



25年度

葬祭ディレクター資格研修会

今年も来る9月11日に平成25年度・葬祭ディレクター技能審査試験が行われます。当社が加盟している「秋田県葬祭業協同組合」では、毎年、受験者を対象にしてディレクター試験研修会を開催しています。今年も2回開催される予定です。試験の日が近づくと参加者は真剣な様子で挑みます。当社からは1名受験します。



昨年の研修会の様子

編集後記

今年の夏はイベントがいっぱいですね。海フェスタには様々な催しがたくさんあり、私がかなかでも楽しみにしているのが、帆船「日本丸」と「海玉丸」の入港です。あの優雅な白い帆を張り、きれいな船体に青い海が夏気分を味あわせてくれますね。皆さんはどんな夏をお過ごしになりますか。熱中症には気を付けてお過ごし下さい。

